

輸送動向について(平成23年3月分)

平成23年4月

1. 輸送概況

今月は、11日に太平洋三陸沖を震源とする国内観測史上最大(マグニチュード9.0)の東北地方太平洋沖地震とこれに伴う津波により「東日本大震災」が発生し、東北から関東にかけての広い範囲で甚大な被害が生じた。東北線は土砂崩れなどによる線路被害、常磐線では津波により線路が広い範囲で流失するなど大きな被害を受けたことから、幹線輸送力を確保するために日本海縦貫線を経由する迂回列車を運転したほか、利用運送事業者と連携した船舶及びトラックによる代行輸送を実施した。また、燃料が著しく不足した被災地に向けて、日本海縦貫線を迂回する根岸～盛岡夕間の石油輸送列車を18日から運転し、さらに25日からは磐越西線を経由するルートを用いて根岸～郡山間の石油輸送列車の運転を行った。なお、月全体では高速貨1,703本、専貨111本が運休した。

荷動きについては、震災による輸送障害及び製造業各社の被災に伴う生産中止、サプライチェーン寸断による生産低迷の影響を強く受けたほか、引越しを控える動きもあり大きく減送となった。

コンテナ貨物は、東北地区にある生産拠点の多くが被災した紙・パルプをはじめ、食料工業品、自動車部品などすべての品目が震災の影響により前年を下回り、全体では前年比71.5%となった。

車扱貨物は、セメント・石灰石が前年を上回ったものの、石油が前年を大きく下回り、全体では前年比87.0%となった。石油は、東日本大震災により製油所が被災したこと及び線路が不通となったことから大幅に減送となった。一方、セメント・石灰石は一部荷主の生産工場の統廃合等により増送となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,397	1,953	71.5%	20,486	20,358	100.6%
車 扱	900	1,034	87.0%	10,505	10,701	98.2%

(参考)東日本大震災前後の輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	コンテナ			車 扱		
	本年実績	前年実績	前年比	本年実績	前年実績	前年比
3/1～3/10	660	626	105.5%	358	367	97.7%
3/11～3/31	737	1,327	55.5%	542	668	81.1%
計	1,397	1,953	71.5%	900	1,034	87.0%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	119	164	-45	72.6%
	化学工業品	133	176	-43	75.6%
	化学薬品	107	140	-33	76.4%
	食料工業品	200	282	-82	70.9%
	紙・パルプ	195	278	-83	70.1%
	他工業品	97	149	-52	65.1%
	積合せ貨物	153	210	-57	72.9%
	自動車部品	44	81	-37	54.3%
	家電・情報機器	32	41	-9	78.0%
	エコ関連物資	28	34	-6	82.4%
	その他	289	397	-108	72.8%
コンテナ計	1,397	1,953	-556	71.5%	
車 扱	石油	619	723	-104	85.6%
	セメント・石灰石	130	117	13	111.2%
	車 両	81	102	-21	79.4%
	その他	70	92	-22	75.6%
	車 扱 計	900	1,034	-134	87.0%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)